

科目：算数	分野：わり算	(4年生)
～大きな数をわってみよう～		1 / 3

●はってん学習のテーマ●

4けた ÷ 1けたの計算を学習しましょう。

◆4けた ÷ 1けたのひっ算◆

4けた ÷ 1けたのわり算は、**たてる→かける→ひく→おろす**の手順をくりかえします。

(例題1) $8568 \div 7$ の計算をしましょう。

$$\begin{array}{r}
 1224 \\
 7 \overline{) 8568} \\
 \underline{7} \\
 15 \\
 \underline{14} \\
 16 \\
 \underline{14} \\
 28 \\
 \underline{28} \\
 0
 \end{array}$$

- ①千の位に1を**たてる**
- ②7**かける**1は7 ③8**ひく**7は1
- ④5を**おろす**

十の位に2をたてる。 $7 \times 2 = 14$ なので、16から14をひく。
8をおろす。

一の位に4をたてる。 $7 \times 4 = 28$ なので、28から28をひく。
あまりは0。

(例題2) $3658 \div 6$ の計算をしましょう。

$$\begin{array}{r}
 609 \\
 6 \overline{) 3658} \\
 \underline{36} \\
 58 \\
 \underline{54} \\
 4
 \end{array}$$

百の位に6をたてる。
 $6 \times 6 = 36$

十の位に0をたてる。
5と8をおろす。

$58 \div 6$ の商を一の位にたてる。
 $9 \times 6 = 54$ なので、58から54をひく。あまりは4。

科目：算数	分野：わり算	(4年生)
～大きな数をわってみよう～		2 / 3

練習問題

① 次の計算をしましょう。

① $8568 \div 7 =$

② $5784 \div 4 =$

③ $7485 \div 3 =$

④ $5760 \div 5 =$

⑤ $8964 \div 6 =$

⑥ $8250 \div 5 =$

⑦ $9592 \div 8 =$

⑧ $6932 \div 4 =$

② 次の計算をしましょう。

① $4247 \div 5 =$

② $2198 \div 3 =$

③ $2354 \div 5 =$

④ $7139 \div 7 =$

⑤ $3052 \div 6 =$

⑥ $5008 \div 9 =$

⑦ $3215 \div 3 =$

⑧ $6002 \div 4 =$

答え合わせ

① 次の計算をしましょう。

① $8568 \div 7 = 1224$

② $5784 \div 4 = 1446$

③ $7485 \div 3 = 2495$

④ $5760 \div 5 = 1152$

⑤ $8964 \div 6 = 1494$

⑥ $8250 \div 5 = 1650$

⑦ $9592 \div 8 = 1199$

⑧ $6932 \div 4 = 1733$

② 次の計算をしましょう。

① $4247 \div 5 = 849 \text{あまり} 2$

② $2198 \div 3 = 732 \text{あまり} 2$

③ $2354 \div 5 = 470 \text{あまり} 4$

④ $7139 \div 7 = 1019 \text{あまり} 6$

⑤ $3052 \div 6 = 508 \text{あまり} 4$

⑥ $5008 \div 9 = 556 \text{あまり} 4$

⑦ $3215 \div 3 = 1071 \text{あまり} 2$

⑧ $6002 \div 4 = 1500 \text{あまり} 2$

科目：算数	分野：小数	(4年生)
～小数第二位までの数の計算～		1 / 3

●はってん学習のテーマ●

小数第二位まである小数の、たし算・ひき算の練習をしよう。

4年生で小数のたし算とひき算を習います。これは、1.3や5.4のように小数点以下の数が1つしかない小数の計算です。けれども、小数には、2.44や4.5367や0.33333……（この3は、どこまでも続いて、終わりがありません。あららっ……て感じ？）のように、小数点以下の数が2つ以上ある小数がたくさんあるのです。（ちなみに、1を3でわると、0.3333……になります。）そこで、今月は、小数点以下の数が2こある小数のたし算とひき算の計算の仕方をみなさんにお話ししますね。

◆計算のしかた

スリーポイント アドバイス

1. 小数点以下の数が1つでも2つでも、計算方法は同じ。
2. 筆算をするときは小数点をそろえることが何よりも大事。
3. 小数点を気にしないで計算し、答えに小数点をつければよい！



◆小数のたし算

2.43 + 6.51 を計算しよう。

$$\begin{array}{r} 2.43 \\ + 6.51 \\ \hline 8.94 \end{array}$$

小数点をたてにそろえる。

考え方

$$\begin{array}{r} 243 \\ + 651 \\ \hline 894 \end{array}$$

←答えがでたら小数点を下におろす。

◆小数のひき算

5.79 - 3.48 を計算しよう。

$$\begin{array}{r} 5.79 \\ - 3.48 \\ \hline 2.31 \end{array}$$

小数点をたてにそろえる。

考え方

$$\begin{array}{r} 579 \\ - 348 \\ \hline 231 \end{array}$$

←答えがでたら小数点を下におろす。

科目：算数	分野：小数	(4年生)
～小数第二位までの数の計算～		2 / 3

練習問題

それでは、問題にアタック！

①は筆算になっているから、そのまま計算できるね。レベルAです。

②は自分で筆算をつくるから、むずかしくなるよ。レベルBです。



① 計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} ① \quad 3.45 \\ + 5.03 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ② \quad 7.31 \\ + 2.08 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ③ \quad 0.46 \\ + 0.23 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ④ \quad 0.04 \\ + 3.12 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑤ \quad 0.56 \\ + 0.18 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑥ \quad 0.48 \\ + 0.79 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑦ \quad 1.83 \\ + 0.29 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑧ \quad 3.04 \\ + 4.97 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑨ \quad 8.73 \\ - 5.31 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑩ \quad 7.78 \\ - 2.75 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑪ \quad 9.53 \\ - 0.22 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑫ \quad 6.98 \\ - 5.93 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑬ \quad 6.43 \\ - 4.23 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑭ \quad 2.51 \\ - 1.48 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑮ \quad 8.28 \\ - 0.59 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑯ \quad 3.78 \\ - 3.57 \\ \hline \end{array}$$

② 計算をしましょう。

$$① \quad 8.16 + 4.3$$

$$② \quad 2.13 + 6.73$$

$$③ \quad 0.05 + 5.88$$

$$④ \quad 6.4 + 2.94$$

$$⑤ \quad 0.3 - 0.08$$

$$⑥ \quad 7.05 - 6.38$$

$$⑦ \quad 6.09 - 5$$

$$⑧ \quad 4.02 - 3.9$$

科目：算数	分野：小数	(4年生)
～小数第二位までの数の計算～		3 / 3

答え合わせ

できたかな。答え合わせをしよう。赤色のボールペンを用意してね。
まちがえたところはしっかりチェック。どの問題をどんなふうにまちがえたのか、自分のまちがえたところをみていこう。



① 計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} ① \quad 3.45 \\ + 5.03 \\ \hline 8.48 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ② \quad 7.31 \\ + 2.08 \\ \hline 9.39 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ③ \quad 0.46 \\ + 0.23 \\ \hline 0.69 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ④ \quad 0.04 \\ + 3.12 \\ \hline 3.16 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑤ \quad 0.56 \\ + 0.18 \\ \hline 0.74 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑥ \quad 0.48 \\ + 0.79 \\ \hline 1.27 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑦ \quad 1.83 \\ + 0.29 \\ \hline 2.12 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑧ \quad 3.04 \\ + 4.97 \\ \hline 8.01 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑨ \quad 8.73 \\ - 5.31 \\ \hline 3.42 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑩ \quad 7.78 \\ - 2.75 \\ \hline 5.03 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑪ \quad 9.53 \\ - 0.22 \\ \hline 9.31 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑫ \quad 6.98 \\ - 5.93 \\ \hline 1.05 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑬ \quad 6.43 \\ - 4.23 \\ \hline 2.2 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑭ \quad 2.51 \\ - 1.48 \\ \hline 1.03 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑮ \quad 8.28 \\ - 0.59 \\ \hline 7.69 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑯ \quad 3.78 \\ - 3.57 \\ \hline 0.16 \end{array}$$

② 計算をしましょう。

$$① \quad 8.16 + 4.3 = 12.46$$

$$② \quad 2.13 + 6.73 = 8.86$$

$$③ \quad 0.05 + 5.88 = 5.93$$

$$④ \quad 6.4 + 2.94 = 9.34$$

$$⑤ \quad 0.3 - 0.08 = 0.22$$

$$⑥ \quad 7.05 - 6.38 = 0.67$$

$$⑦ \quad 6.09 - 5 = 1.09$$

$$⑧ \quad 4.02 - 3.9 = 0.12$$

科目：算数	分野：文章題	(4年生)
とくべつこうざ ～文章題特別講座～		1 / 3

●はってん学習のテーマ●

文章題をといてみよう

文章題、お好きですか？ おきらいですか？
 今月は文章題です。「やだな～。どうせ、わかんないし!!」なんていわないで、
 ちょっとチャレンジしてみましょうよ。
 算数は、かけ算九九や一けたどうしのたし算やひき算のように、答えを暗記して
 しまうほうが計算しやすいものがありますが、本当は「考える」教科です。
 文章題を解くためにじっくり問題にむきあい、いろいろ考えてくださいね。
 さあ、頭をたっぷりいじめ、脳に汗をかかせましょ。今月のわたし、きびしいぞますよ。



◆文章題の解き方心得7か条

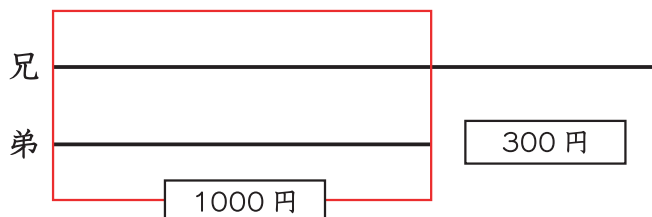
1. 問題文は2回読もう。できれば声をだして。
2. 図や表を書け。わかっている数はすべて図に書きこむべし。
3. 図の中でいちばん役にたつのは線分図なり。
4. 図をじっと見るべし。
5. 正しく式をたて、計算せよ。答えには名数をわすれるな。
6. ノートはぜいたくにたっぷり使おう。
7. あきらめない。ねばったものがさいごにわらう。

◆今月は、いくつかに分ける問題をやってみましょう。

〈いくつかに分ける例題〉

1300 円を兄と弟で分けます。兄は、弟より 300 円多くもらいました。
 それぞれいくらもらいましたか。

兄と弟のお金を2本の線であらわします。



兄と弟の2本の線をあわせると
 1000 円になることがわかります。

$$1300 - 300 = 1000$$

$$1000 \div 2 = 500$$

$$500 + 300 = 800$$

兄は 800 円、弟は 500 円ですね。

科目：算数	分野：文章題	(4年生)
とくべつこうざ ～文章題特別講座～		2 / 3

練習問題

それでは問題にアタックです。
式もちゃんと書いて、答えを求めましょう。
こころえ心得7か条を思い出し、じっくり考えてね。



- 1 2000 円を兄と弟の二人で分けます。兄は弟より 400 円多くもらいました。
それぞれいくらもらったでしょう。
- 2 2500 円を兄と弟の二人で分けます。兄は弟より 100 円多くもらいました。
それぞれいくらもらったでしょう。
- 3 2400 円を兄と弟の二人で分けます。兄は弟の 3 倍のお金をもらいました。
それぞれいくらもらったでしょう。
- 4 2000 円を兄と弟の二人で分けます。兄は弟の 2 倍より 100 円少なくお金をもらいました。それぞれいくらもらったでしょう。

科目：算数	分野：文章題	(4年生)
とくべつこうざ ～文章題特別講座～		3 / 3

答え合わせ

答え合わせをしましょう。でも、これで安心しないで。
こころえばんがいへん
心得番外編があります。「できたらちがう解き方をさがせ」です。むむむっ。

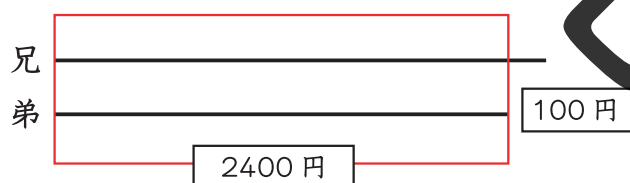


- ① 2000 円を兄と弟の二人で分けます。兄は弟より 400 円多くもらいました。
それぞれいくらもらったでしょう。



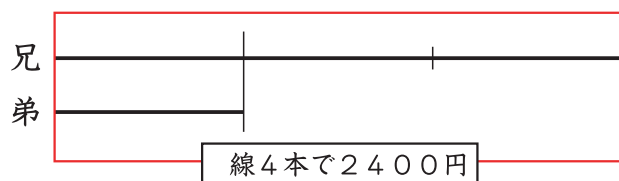
式 $2000 - 400 = 1600$
 $1600 \div 2 = 800$ (弟の分)
 $800 + 400 = 1200$ (兄の分)
 答え 兄 1200 円、弟 800 円

- ② 2500 円を兄と弟の二人で分けます。兄は弟より 100 円多くもらいました。
それぞれいくらもらったでしょう。



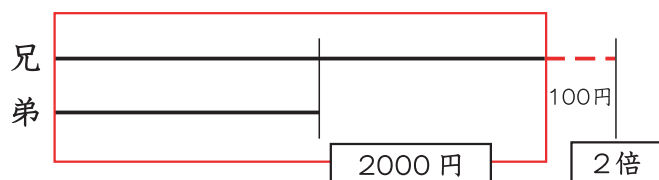
式 $2500 - 100 = 2400$
 $2400 \div 2 = 1200$ (弟の分)
 $1200 + 100 = 1300$ (兄の分)
 答え 兄 1300 円、弟 1200 円

- ③ 2400 円を兄と弟の二人で分けます。兄は弟の 3 倍のお金をもらいました。
それぞれいくらもらったでしょう。



式 $2400 \div 4 = 600$ (弟の分)
 $600 \times 3 = 1800$ (兄の分)
 答え 兄 1800 円、弟 600 円

- ④ 2000 円を兄と弟の二人で分けます。兄は弟の 2 倍より 100 円少なくお金をもらいました。それぞれいくらもらったでしょう。



式 $2000 + 100 = 2100$
 $2100 \div 3 = 700$ (弟の分)
 $700 \times 2 - 100 = 1300$ (兄の分)
 答え 兄 1300 円 弟 700 円

科目：算数	分野：整数	(4年生)
～4けた÷2けたのわり算～		1 / 3

●はってん学習のテーマ●

4けた(1万よりも小さい数)を2けた(100よりも小さい数)でわってみよう。

3けたの数を2けたの数でわる計算のひっ算のしかたは、4年生でならいます。
このひっ算ができれば、4けたの数を2けたの数でわるひっ算ができるようになります。
数が大きくなっても、ひっ算のしかたは同じです。
ならったことをうまく使うと、ならっていないこともできるようになっちゃう！
こういう力を「応用力おうようりき」というのですね。



〈例題〉 8462÷53のひっ算のしかたをみてみよう。

159		
53) 8462		
53	←	かける
31	←	ひく
316	←	おろす
265	←	かける
51	←	ひく
512	←	おろす
477	←	かける
35	←	ひく

数が大きくなっても、ひっ算のしかたは同じです。

スリーポイントアドバイス

- ◆商がどの位にたつのかを、しっかり考える。
- ◆わり算は、「たてる→かける→ひく→おろす」のくりかえし。
- ◆わられる数が大きいと、わり切れる計算は少ない。

科目：算数	分野：整数	(4年生)
～4けた÷2けたのわり算～		2 / 3

練習問題

ひっ算で計算しましょう。たてに位をそろえてくださいね。
ひき算のくり下がりのところでまちがえやすいので、気をつけて。
何事も、^{ゆたかな}油断大敵です。



① $9895 \div 63$

② $7145 \div 29$

③ $3985 \div 18$

④ $9923 \div 84$

⑤ $7391 \div 23$

⑥ $9096 \div 14$

⑦ $3491 \div 12$

⑧ $6794 \div 52$

⑨ $5400 \div 15$

⑩ $5643 \div 78$

⑪ $7495 \div 94$

⑫ $1018 \div 48$

科目：算数	分野：整数	(4年生)
～4けた÷2けたのわり算～		3 / 3

答え合わせ

おつかれさまでした！

ひっ算の数字がきれいにならんでいますか。数字をきれいに書くだけで、まちがいを減らすことができますよ。かんたんなことからやってみてね。



① $9895 \div 63$

=157 あまり4

$$\begin{array}{r} 157 \\ 63 \overline{) 9895} \\ \underline{63} \\ 359 \\ \underline{315} \\ 445 \\ \underline{441} \\ 4 \end{array}$$

② $7145 \div 29$

=246 あまり11

$$\begin{array}{r} 246 \\ 29 \overline{) 7145} \\ \underline{58} \\ 134 \\ \underline{116} \\ 185 \\ \underline{174} \\ 11 \end{array}$$

③ $3985 \div 18$

=221 あまり7

$$\begin{array}{r} 221 \\ 18 \overline{) 3985} \\ \underline{36} \\ 38 \\ \underline{36} \\ 25 \\ \underline{18} \\ 7 \end{array}$$

④ $9923 \div 84$

=118 あまり11

$$\begin{array}{r} 118 \\ 84 \overline{) 9923} \\ \underline{84} \\ 152 \\ \underline{84} \\ 683 \\ \underline{672} \\ 11 \end{array}$$

⑤ $7391 \div 23$

=321 あまり8

$$\begin{array}{r} 321 \\ 23 \overline{) 7391} \\ \underline{69} \\ 49 \\ \underline{46} \\ 31 \\ \underline{23} \\ 8 \end{array}$$

⑥ $9096 \div 14$

=649 あまり10

$$\begin{array}{r} 649 \\ 14 \overline{) 9096} \\ \underline{84} \\ 69 \\ \underline{56} \\ 136 \\ \underline{126} \\ 10 \end{array}$$

⑦ $3491 \div 12$

=290 あまり11

$$\begin{array}{r} 290 \\ 12 \overline{) 3491} \\ \underline{24} \\ 109 \\ \underline{108} \\ 11 \end{array}$$

⑧ $6794 \div 52$

=130 あまり34

$$\begin{array}{r} 130 \\ 52 \overline{) 6794} \\ \underline{52} \\ 159 \\ \underline{156} \\ 34 \end{array}$$

⑨ $5400 \div 15$

=360

$$\begin{array}{r} 360 \\ 15 \overline{) 5400} \\ \underline{45} \\ 90 \\ \underline{90} \\ 0 \end{array}$$

⑩ $5643 \div 78$

=72 あまり27

$$\begin{array}{r} 72 \\ 78 \overline{) 5643} \\ \underline{546} \\ 183 \\ \underline{156} \\ 27 \end{array}$$

⑪ $7495 \div 94$

=79 あまり69

$$\begin{array}{r} 79 \\ 94 \overline{) 7495} \\ \underline{658} \\ 915 \\ \underline{846} \\ 69 \end{array}$$

⑫ $1018 \div 48$

=21 あまり10

$$\begin{array}{r} 21 \\ 48 \overline{) 1018} \\ \underline{96} \\ 58 \\ \underline{48} \\ 10 \end{array}$$

科目：算数	分野：整数	(4年生)
～計算のじゅんじょ～		1 / 3

●はってん学習のテーマ●

計算のじゅんじょを覚えよう。

式の計算には、じゅんじょがあります。

これは「計算のきまり」です。ですから、じゅんじょにしたがって計算してくださいネ。

じゅんじょを覚えてしまえば、あとは、らくちん。かんたんに計算できます。



◆式の計算のじゅんじょのきまり 《その1》

ふつうは、左から順に計算する。

◆式の計算のじゅんじょのきまり 《その2》

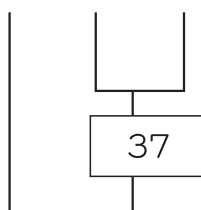
() のある式では、() の中をいちばん先に計算する。

◆式の計算のじゅんじょのきまり 《その3》

+ , - , × , ÷ がまざった式は、× , ÷ を先に計算する。

〈例題1〉

$$5 + (75 - 38)$$

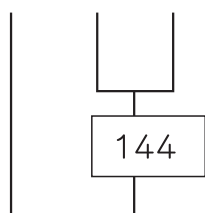


75 - 38 を1ばんめに計算します。答えは37

5 + 37 を2ばんめに計算します。答えは42

〈例題2〉

$$500 - 24 \times 6$$



24 × 6 を1ばんめに計算します。答えは144

500 - 144 を2ばんめに計算します。答えは356

科目：算数	分野：整数	(4年生)
～計算のじゅんじょ～		2 / 3

練習問題

次の計算をしましょう。
計算の順に線でつないでいくと、わかりやすくなります。



① $45 + (55 + 28)$

② $80 - (25 + 17)$

③ $70 - (43 + 19)$

④ $100 - (78 - 49)$

⑤ $8 \times 7 + 26$

⑥ $40 - 7 \times 3$

⑦ $12 \times 4 + 15 \times 3$

⑧ $50 \times 60 - 275$

⑨ $32 \div 4 - 45 \div 9$

⑩ $180 + 279 \div 3$

⑪ $(4 + 3 \times 2) + 35$

⑫ $50 - (4 \times 7 + 13)$

⑬ $64 \times (22 - 17)$

⑭ $434 \div (5 + 2)$

⑮ $648 \div 8 - 53$

⑯ $20 \times (121 - 5)$

科目：算数	分野：整数	(4年生)
～計算のじゅんじょ～		3 / 3

答え合わせ

おつかれさまでした！
計算のじゅんじょがはじめにわかっていたいましたか？
計算する順に式をたてていくと、正確に計算できますよ。



① $45 + (55 + 28) = 128$

② $80 - (25 + 17) = 38$

③ $70 - (43 + 19) = 8$

④ $100 - (78 - 49) = 71$

⑤ $8 \times 7 + 26 = 82$

⑥ $40 - 7 \times 3 = 19$

⑦ $12 \times 4 + 15 \times 3 = 93$

⑧ $50 \times 60 - 275 = 2725$

⑨ $32 \div 4 - 45 \div 9 = 3$

⑩ $180 + 279 \div 3 = 273$

⑪ $(4 + 3 \times 2) + 35 = 45$

⑫ $50 - (4 \times 7 + 13) = 9$

⑬ $64 \times (22 - 17) = 320$

⑭ $434 \div (5 + 2) = 62$

⑮ $648 \div 8 - 53 = 28$

⑯ $20 \times (121 - 5) = 2320$

科目：算数	分野：分数と小数	(4年生)
～分数から小数へ・小数から分数へ～		1 / 3

●はってん学習のテーマ●

分数を小数になおそう。小数を分数になおそう。

3mのテープを5等分した1つ分の長さを求めるとき、式は、 $3 \div 5$ になります。

答えは、小数でも分数でも求めることができます。

分数で表すと、 $\frac{3}{5}$ です。

小数で表すと、0.6です。

$\frac{3}{5} = 3 \div 5 = 0.6$ または、 $0.6 = 3 \div 5 = \frac{3}{5}$ という式になります。

このように、同じ大きさの数を表すとき、分数でも小数でも表すことができるのです。

◆覚えておこう

$$\frac{1}{4} = 1 \div 4 = 0.25$$

$$\frac{1}{5} = 1 \div 5 = 0.2$$



◆小数を分数になおすときのポイント

0.3 を分数になおしてみましょう。

0.3 は、0.1 が3こぶんです。0.1 は、 $\frac{1}{10}$ ですから、 $\frac{3}{10}$ になります。

小数第一位までの小数のときは、分母が10の分数にします。
小数点以下の数を分子にします。

◆分数と小数の大きさをくらべよう

分数と小数がまざっているときは、分数か小数にそろえて、大きさをくらべましょう。

【れいだい1】 $\frac{1}{2}$ と 0.6 はどちらが大きいでしょう。

$\frac{1}{2}$ を小数になおします。

$\frac{1}{2} = 1 \div 2 = 0.5$ なので、 $\frac{1}{2}$ と 0.6 とでは、0.6 のほうが大きいことがわかります。

科目：算数	分野：分数と小数	(4年生)
～分数から小数へ・小数から分数へ～		2 / 3

練習問題

分数も小数もわり算になおして、考えてみましょう。



① 次の分数を小数になおしましょう。

① $\frac{3}{5}$

② $\frac{2}{5}$

③ $\frac{1}{4}$

④ $\frac{1}{10}$

⑤ $\frac{1}{100}$

⑥ $\frac{1}{20}$

② 次の小数を分母が10の分数になおしましょう。(約分はしなくてもよい)

① 0.1

② 0.3

③ 0.7

④ 0.9

⑤ 0.2

⑥ 2.1

③ 4 mのテープを5等分したうちの1つ分のテープの長さを分数と小数で求めましょう。

科目：算数	分野：分数と小数	(4年生)
～分数から小数へ・小数から分数へ～		3 / 3

答え合わせ

おつかれさまでした！ 分数と小数の関係をおぼえましょう。
小数にできない分数もありますが、それは、もう少しあとでならいます。



① 次の分数を小数になおしましょう。

① $\frac{3}{5}$

$3 \div 5 = 0.6$

② $\frac{2}{5}$

$2 \div 5 = 0.4$

③ $\frac{1}{4}$

$1 \div 4 = 0.25$

④ $\frac{1}{10}$

$1 \div 10 = 0.1$

⑤ $\frac{1}{100}$

$1 \div 100 = 0.01$

⑥ $\frac{1}{20}$

$1 \div 20 = 0.05$

② 次の小数を分母が10の分数になおしましょう。(約分はしなくてもよい)

① 0.1

$0.1 = 1 \div 10 = \frac{1}{10}$

② 0.3

$0.3 = 3 \div 10 = \frac{3}{10}$

③ 0.7

$0.7 = 7 \div 10 = \frac{7}{10}$

④ 0.9

$0.9 = 9 \div 10 = \frac{9}{10}$

⑤ 0.2

$0.2 = 2 \div 10 = \frac{2}{10}$
(約分をすると、 $\frac{1}{5}$)

⑥ 2.1

2.1 は、2 と 0.1 のこと。
2 は、帯分数の整数部分になる。
 $2.1 = 2.1 \div 10 = 2\frac{1}{10}$

③ 4 m のテープを5等分したうちの1つ分のテープの長さを分数と小数で求めましょう。

式 $4 \div 5 = 0.8$

$4 \div 5 = \frac{4}{5}$

答え 小数であらわすと 0.8m

分数であらわすと $\frac{4}{5}$ m

科目：算数	分野：整数	(4年生)
～計算のきまり～		1 / 3

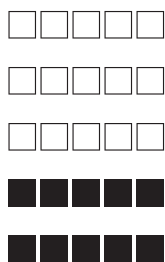
●はってん学習のテーマ●

計算の順じょを覚えよう。

計算には、いくつかのきまりがあります。きまりを覚えておくと、とっても便利デス！
たとえば、たし算だけの式の時、たす数とたされる数をいれかえても、答えは同じ
になるというきまりがあります。かけ算だけの式の時、かける数とかけられる数
をいれかえても、答えは同じになるというきまりがあります。計算のきまりを応用す
るとかんたんに計算できるし、わからない数を求めることができるのです。



【例題1】



白いタイルと黒いタイルをあわせた数をもとめましょう。

《方法1》

白いタイル $3 \times 5 = 15$

黒いタイル $2 \times 5 = 10$

あわせると、 $3 \times 5 + 2 \times 5 = 25$

答え 25 まい

《方法2》

白いタイルと黒いタイルをたて1列であわせると

$3 + 2 = 5$

全体の数は $(3 + 2) \times 5 = 25$

答え 25 まい

《方法1の式と方法2の式を＝でつなぐと》

$3 \times 5 + 2 \times 5 = (3 + 2) \times 5$

ある数■とある数●に同じ数をかけるとき、()を使って■と●を先にたすことができます。

$$5 \times 7 + 8 \times 7 = (5 + 8) \times 7$$

$$2 \times 9 + 6 \times 9 = (2 + 6) \times 9$$

図で表してみましょう。 $\blacksquare \times \blacktriangle + \bullet \times \blacktriangle = (\blacksquare + \bullet) \times \blacktriangle$

まだまだあります。計算のきまり！！

その1 すべてたし算だけ、すべてかけ算だけの式の時、()をどこにつけても答えは同じ。

$$\blacksquare + \diamond + \odot = (\blacksquare + \diamond) + \odot = \blacksquare + (\diamond + \odot)$$

$$\blacksquare \times \diamond \times \odot = (\blacksquare \times \diamond) \times \odot = \blacksquare \times (\diamond \times \odot)$$

その2 たし算やかけ算は、計算する順番を入れかえても、答えは同じ。

$$\blacksquare + \diamond + \odot = \blacksquare + \odot + \diamond = \odot + \diamond + \blacksquare = \odot + \blacksquare + \diamond = \diamond + \odot + \blacksquare = \diamond + \blacksquare + \odot$$

$$\blacksquare \times \diamond \times \odot = \blacksquare \times \odot \times \diamond = \odot \times \diamond \times \blacksquare = \odot \times \blacksquare \times \diamond = \diamond \times \odot \times \blacksquare = \diamond \times \blacksquare \times \odot$$

練習問題

計算のきまりをおもいだし、□にあてはまる数をもとめましょう。
計算の^{じゅん}順じをいれかえたり、()をつけると、
計算がかんたんになることに気づきましたか？



1

① $3 \times 7 + 4 \times 7 = (3 + \square) \times 7$

② $6 \times 5 + 9 \times 5 = (\square + 9) \times 5$

③ $8 \times 9 + 7 \times 9 = (8 + 7) \times \square$

④ $2 \times 10 + 5 \times 10 = (2 + 5) \times \square$

2

① $15 + 42 + 5 = 15 + \square + 42 = 20 + 42 = 62$

② $17 + 67 + 3 = 3 + \square + 67 = 20 + 67 = 87$

③ $4 \times 13 \times 5 = 4 \times \square \times 13 = 20 \times 13 = 260$

④ $25 \times 13 \times 4 = \square \times 4 \times 13 = 100 \times 13 = 1300$

3

① $71 + 16 + 24 = 71 + (16 + \square) = 71 + 40 = 111$

② $(20 + \square) + 17 = 35 + 17 = 52$

科目：算数	分野：整数	(4年生)
～計算のきまり～		3 / 3

答え合わせ

おつかれさまでした！

計算のきまりがわかりましたか？ここでは、整数だけで考えましたが、
小数のときにもつかえる計算のきまりなので、覚えておいてくださいね。



1

① $3 \times 7 + 4 \times 7 = (3 + \boxed{4}) \times 7$

② $6 \times 5 + 9 \times 5 = (\boxed{6} + 9) \times 5$

③ $8 \times 9 + 7 \times 9 = (8 + 7) \times \boxed{9}$

④ $2 \times 10 + 5 \times 10 = (2 + 5) \times \boxed{10}$

2

① $15 + 42 + 5 = 15 + \boxed{5} + 42 = 20 + 42 = 62$

② $17 + 67 + 3 = 3 + \boxed{17} + 67 = 20 + 67 = 87$

③ $4 \times 13 \times 5 = 4 \times \boxed{5} \times 13 = 20 \times 13 = 260$

④ $25 \times 13 \times 4 = \boxed{25} \times 4 \times 13 = 100 \times 13 = 1300$

3

① $71 + 16 + 24 = 71 + (16 + \boxed{24}) = 71 + 40 = 111$

② $(20 + \boxed{15}) + 17 = 35 + 17 = 52$

35 を 20 と 15 にわけています。

科目：算数	分野：文章題	(4年生)
～文章題に強くなろう～		1 / 3

●はってん学習のテーマ●

わかっている数をもとにして、わからない数をもとめよう。

わかっている数をうまくつかうと、わからない数をもとめることができます。その方法はいくつかあるのですが、ここでは、「ぎゃく算」をお伝えしますね。

「ぎゃく算」というのは、終わりのほうから初めのほうにもどって計算する方法です。計算のじゅんじょをぎゃくにしてい、答えをだすのです。もとの数をもとめる文章題は、この方法でもとめることができます。



【れいだい】 同じねだんのノートが4さつ買い、次に200円の下じきを買ったとき、全部で800円になりました。ノート1さつのねだんはいくらですか。

1. はじめに、ノート4さつ分のねだんを考えます。

□円のノート	□円のノート	□円のノート	□円のノート	200円の下じき
全部で800円				

全部のねだんから200円の下じきのねだんをひくと、ノート4さつ分のねだんがわかります。

$$800 \text{ 円} - 200 \text{ 円} = 600 \text{ 円} \quad \leftarrow \text{ノート4さつ分のねだん}$$

2. ノート1さつのねだんをわり算でもとめます。

$$600 \text{ 円} \div 4 \text{ さつ} = 150 \text{ 円}$$

1と2をひとつの式にまとめると、次のようになります。

$$\text{式A} \quad (800 - 200) \div 4 = 150$$

では、はじめにノートのねだんがわかっていると考え、ノート4さつ分と下じき1まいを買ったときの代金をもとめてみましょう。

$$\text{式B} \quad (150 \times 4) + 200 = 800$$

式Aは、式Bを【ぎゃく】にして計算していることがわかります。

□を使って式をつくると、【ぎゃく】に計算することがよくわかります。

ノート1さつのねだんを□とします。

$$(\square \times 4) + 200 = 800$$

$$\square \times 4 = 800 - 200$$

$$\square = (800 - 200) \div 4$$

$$\square = 150$$

科目：算数	分野：文章題	(4年生)
～文章題に強くなろう～		2 / 3

練習問題

さあ、文章題をときましょう。もとの数を□にして式をつくり、「ぎゃく」に計算していくと、答えをもとめることができますよ。また、図や線分図をかくと、わかりやすくなりますよ。



- 1 同じねだんのノートを8さつ買い、100円の下じきを1まい買ったら、全部で740円になりました。ノート1さつのねだんはいくらですか。
- 2 リンゴを5こ買いました。全体の代金から20円はけてもらって、380円はらいました。リンゴ1このねだんはいくらでしょう。
- 3 買ったたまごを6人で同じ数ずつ分けました。わたしの家にはたまごが7こあったので、たまごの数は全部で17こになりました。はじめに買ったたまごは、全部で何こあったでしょう。
- 4 買った色紙を5人で同じ数ずつ分けました。ぼくの家には色紙が6まいあるので、色紙の数は全部で15まいになりました。買った色紙は全部で何まいですか。

科目：算数	分野：文章題	(4年生)
～文章題に強くなろう～		3 / 3

答え合わせ

できましたか？ おつかれさまでした。この問題は、式のたてかたがとっても大切です。はじめの数やもとの数を□にして式をたてることができれば、あとは、ぎゃくに計算していきましょう。



- ① 同じねだんのノートを8さつ買い、100円の下じきを1まい買ったら、全部で740円になりました。ノート1さつのねだんはいくらですか。

ノートを1さつのねだんを□とすると、

$$(\square \times 8) + 100 = 740$$

ぎゃくに計算すると、

$$\square \times 8 = 740 - 100 = 640$$

$$\square = 640 \div 8 = 80$$

答え ノート1さつのねだんは、80円

- ② リンゴを5こ買いました。全体の代金から20円はけてもらって、380円はらいました。リンゴ1このねだんはいくらでしょう。

リンゴ1このねだんを□とすると、

$$(\square \times 5) - 20 = 380$$

ぎゃくに計算すると、

$$\square \times 5 = 380 + 20 = 400$$

$$\square = 400 \div 5 = 80$$

答え リンゴ1このねだんは、80円

- ③ 買ったたまごを6人で同じ数ずつ分けました。わたしの家にはたまごが7こあったので、たまごの数は全部で17こになりました。はじめに買ったたまごは、全部で何こあったでしょう。

$$\square \div 6 + 7 = 17$$

$$\square \div 6 = 17 - 7 = 10$$

$$\square = 10 \times 6 = 60$$

答え 買ったたまごは、全部で60こ

- ④ 買った色紙を5人で同じ数ずつ分けました。ぼくの家の色紙が6まいあるので、色紙の数は全部で15まいになりました。買った色紙は全部で何まいですか。

$$\square \div 5 + 6 = 15$$

$$\square \div 5 = 15 - 6 = 9$$

$$\square = 9 \times 5 = 45$$

答え 買った色紙は、全部で45まい

科目：算数	分野：全体	(4年生)
～4年のまとめ～		1 / 3

●はってん学習のテーマ●

今までに習ったことのまとめをしよう

今までに習ったことのまとめをしましょう。
もういちどおさらいすると、頭の中にきっちりのこります。
終わりよければすべてよしです。最後をきっちり仕上げましょう。



◆計算の順じょ

1. ふつうは、左から順に計算する。
2. ()のある式では、()の中を先に計算する。
3. +, -, ×, ÷ がまざった式は、×, ÷ を先に計算する。

◆計算のきまり

1. すべてたし算だけ、すべてかけ算だけの式のときは、()をどこにつけても答えは同じ。

$$\blacksquare + \diamond + \odot = (\blacksquare + \diamond) + \odot = \blacksquare + (\diamond + \odot)$$

$$\blacksquare \times \diamond \times \odot = (\blacksquare \times \diamond) \times \odot = \blacksquare \times (\diamond \times \odot)$$

2. たし算やかけ算は、計算する順番を入れかえても、答えは同じ。

$$\blacksquare + \diamond + \odot = \blacksquare + \odot + \diamond = \odot + \diamond + \blacksquare = \odot + \blacksquare + \diamond = \diamond + \odot + \blacksquare = \diamond + \blacksquare + \odot$$

$$\blacksquare \times \diamond \times \odot = \blacksquare \times \odot \times \diamond = \odot \times \diamond \times \blacksquare = \odot \times \blacksquare \times \diamond = \diamond \times \odot \times \blacksquare = \diamond \times \blacksquare \times \odot$$

◆小数第2位までの数のたし算とひき算

1. 小数点以下の数が1つでも2つでも、計算方法は同じ。
2. ひっ算をするときは小数点をそろえることが何よりも大事。
3. 小数点を気にしないで計算し、最後に、答えに小数点をつける。

◆4けた ÷ 2けたのわり算

1. 商がどの位にたつのかを、しっかり考える。
2. わり算は、「たてる→かける→ひく→おろす」のくりかえし。

科目：算数	分野：全体	(4年生)
～4年のまとめ～		2 / 3

練習問題

さあ、問題をときましょう。どのくらいできるかな。
いろいろな計算がありますから、おちついてとりくんでくださいね。



① 計算をしましょう。

① $8.16 + 4.3$

② $2.13 + 6.73$

③ $0.05 + 5.88$

④ $6.4 + 2.94$

⑤ $0.3 - 0.08$

⑥ $7.05 - 6.38$

⑦ $9450 \div 63$

⑧ $7105 \div 29$

⑨ $3960 \div 18$

⑩ $3572 \div 94$

⑪ $32 \div 4 - 45 \div 9$

⑫ $180 + 279 \div 3$

⑬ $(4 + 3 \times 2) + 35$

⑭ $50 - (4 \times 7 + 13)$

② □にあてはまる数を求めましょう。

① $3 \times 7 + 4 \times 7 = (3 + \square) \times 7$

② $6 \times 5 + 9 \times 5 = (\square + 9) \times 5$

科目：算数	分野：全体	(4年生)
～4年のまとめ～		3 / 3

答え合わせ

まちがえたところだけ、もういちどやり直してみましょう。
4年生の「はってん学習プリント」は、これでおしまいです。
5年生の算数もがんばってくださいね。



① 計算をしましょう。

① $8.16 + 4.3 = 12.46$

② $2.13 + 6.73 = 8.86$

③ $0.05 + 5.88 = 5.93$

④ $6.4 + 2.94 = 9.34$

⑤ $0.3 - 0.08 = 0.22$

⑥ $7.05 - 6.38 = 0.67$

⑦ $9450 \div 63 = 150$

⑧ $7105 \div 29 = 245$

⑨ $3960 \div 18 = 220$

⑩ $3572 \div 94 = 38$

⑪ $32 \div 4 - 45 \div 9 = 3$

⑫ $180 + 279 \div 3 = 273$

⑬ $(4 + 3 \times 2) + 35 = 45$

⑭ $50 - (4 \times 7 + 13) = 9$

② □にあてはまる数を求めましょう。

① $3 \times 7 + 4 \times 7 = (3 + \boxed{4}) \times 7$

② $6 \times 5 + 9 \times 5 = (\boxed{6} + 9) \times 5$

科目：算数	分野：全体	(4年生)
～計算と単位のまとめ～		1 / 3

●はってん学習のテーマ●

たし算・かけ算・わり算や、かさ、重さ、時間の単位のまとめをしましょう。

4年生までに習った算数のポイントをさらっとおさらいしちゃいましょう。
わすれていることがあったら、さっそくふくしゅうしてね!



今までに習ったことのポイント

◆3けたのたし算

1. 3けたのたし算は、2けたのたし算のひっ算のしかたと同じ。
2. 位をたてにそろえて、たて書きにする。
3. 一の位から計算し、くり上がった数をわすれないようにする。

◆3けた × 1 けたのかけ算

1. 3けた × 1 けたのかけ算は、2けた × 1 けたのひっ算のしかたと同じ。
2. 位をたてにそろえて、たて書きにする。
3. 一の位から計算し、最後にたす。

◆あまりのあるわり算

1. わり算もひっ算でもとめることができる。
2. あまりは、ひき算のひっ算と同じように求めることができる。

◆かさの単位 (2年生)

1. かさの単位には、L、dL、mLがある。
2. $1\text{L}=10\text{dL}$
 $1\text{L}=1000\text{mL}$
3. 入れ物に入れるかさを表すときは、mLの単位を使うことが多い。

◆重さの単位 (3年生)

1. 重さの単位には、g、kg、tがある。
2. $1\text{kg}=1000\text{g}$
3. $1\text{t}=1000\text{kg}$

◆時こくと時間の単位 (2～3年生)

1. $1\text{日}=24\text{時間}$
 $1\text{時間}=60\text{分}$
 $1\text{分}=60\text{秒}$
2. 午前は12時間
午後12時間

科目：算数	分野：全体	(4年生)
～計算と単位のまとめ～		2 / 3

練習問題

さあ、問題をときましょう。どのくらいできるかな。
いろいろな計算がありますから、おちついてとりくんでくださいね。



① 3けたのたし算をしましょう。

$$\begin{array}{r} ① \quad 253 \\ + 531 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ② \quad 583 \\ + 732 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ③ \quad 469 \\ + 553 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ④ \quad 869 \\ + 475 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} ⑤ \quad 669 \\ + 580 \\ \hline \end{array}$$

② 3けたのかけ算をしましょう。

$$① \quad 452 \times 6$$

$$② \quad 435 \times 7$$

$$③ \quad 832 \times 2$$

③ 計算をしましょう。

$$① \quad 50 \div 8$$

$$② \quad 32 \div 7$$

$$③ \quad 62 \div 7$$

$$④ \quad 74 \div 9$$

④ () の中の単位で求めましょう。

$$① \quad 1\text{L} - 280\text{mL}$$

(mL)

$$② \quad 2\text{L} - 750\text{mL}$$

(mL)

$$③ \quad 4\text{cm} \div 8$$

(mm)

$$④ \quad 4\text{km} \div 5$$

(m)

$$⑤ \quad 3\text{時間} - 2\text{時間} 25\text{分}$$

(分)

$$⑥ \quad 3\text{kg} - 2\text{kg} 350\text{g}$$

(g)

科目：算数	分野：全体	(4年生)
～計算と単位のまとめ～		3 / 3

答え合わせ

できなかった問題があったら、今のうちに、おさらいしておきましょう。
教科書を見直すと、計算のしかたを思い出しますよ。



① 3けたのたし算をしましょう。

①	$\begin{array}{r} 253 \\ + 531 \\ \hline 784 \end{array}$	②	$\begin{array}{r} 583 \\ + 732 \\ \hline 1315 \end{array}$	③	$\begin{array}{r} 469 \\ + 553 \\ \hline 1022 \end{array}$	④	$\begin{array}{r} 869 \\ + 475 \\ \hline 1344 \end{array}$	⑤	$\begin{array}{r} 669 \\ + 580 \\ \hline 1249 \end{array}$
---	---	---	--	---	--	---	--	---	--

② 3けたのかけ算をしましょう。

①	$452 \times 6 = 2712$	②	$435 \times 7 = 3045$	③	$832 \times 2 = 1664$
	$\begin{array}{r} 452 \\ \times 6 \\ \hline 2712 \end{array}$		$\begin{array}{r} 435 \\ \times 7 \\ \hline 3045 \end{array}$		$\begin{array}{r} 832 \\ \times 2 \\ \hline 1664 \end{array}$

③ 計算をしましょう。

①	$50 \div 8 = 6 \text{ あまり } 2$	②	$32 \div 7 = 4 \text{ あまり } 4$
③	$62 \div 7 = 8 \text{ あまり } 6$	④	$74 \div 9 = 8 \text{ あまり } 2$

④ () の中の単位で求めましょう。

①	$1\text{L} - 280\text{mL} = 720\text{mL}$	(mL)	②	$2\text{L} - 750\text{mL} = 1250\text{mL}$	(mL)
③	$4\text{cm} \div 8 = 5\text{mm}$	(mm)	④	$4\text{km} \div 5 = 800\text{m}$	(m)
⑤	$3\text{時間} - 2\text{時間} 25\text{分} = 35\text{分}$	(分)	⑥	$3\text{kg} - 2\text{kg} 350\text{g} = 650\text{g}$	(g)

科目：算数	分野：わり算	(4年生)
～3けた÷1けた, 4けた÷1けたの計算～		1 / 3

●はってん学習のテーマ●

3けたや4けたの数をわるわり算を練習しよう。

じゅぎょう 1

350 を5でわる計算のしかたを考えてみましょう。

350 を 350 円と考えます。

350 円は 10 円玉 35 まいです。

10 円玉 35 まいを5人で分けると、1人分は 10 円玉 7 まいです。

10 円玉 7 まいは、70 円です。

そこで、350 を5でわると、つぎの式になります。

$$350 \div 5 = 70$$

① わられる数の0をとってわり算をします。 → $35 \div 5$

② 答えにわられる数からとった0をもどします。 → 7に0を1こつける

れいだい
【例題】

① $180 \div 2 = 90$

② $240 \div 4 = 60$

③ $560 \div 8 = 70$

④ $810 \div 9 = 90$

じゅぎょう 2

1800 を3でわる計算のしかたを考えてみましょう。

1800 を 1800 円と考えます。

1800 円は 100 円玉 18 まいです。

100 円玉 18 まいを3人で分けると、1人分は 100 円玉 6 まいです。

100 円玉 6 まいは、600 円です。

そこで、1800 を3でわると、つぎの式になります。

$$1800 \div 3 = 600$$

① わられる数の0をとってわり算をします。 → $18 \div 3$

② 答えにわられる数からとった0をもどします。 → 6に0を2こつける

れいだい
【例題】

① $1200 \div 4 = 300$

② $3200 \div 8 = 400$

③ $2100 \div 3 = 700$

④ $4800 \div 6 = 800$

科目：算数	分野：わり算	(4年生)
～3けた÷1けた，4けた÷1けたの計算～		2 / 3

練習問題

① 計算をしましょう。

① $160 \div 4$

② $270 \div 3$

③ $250 \div 5$

④ $350 \div 7$

⑤ $300 \div 6$

⑥ $450 \div 9$

⑦ $280 \div 4$

⑧ $180 \div 2$

⑨ $540 \div 9$

⑩ $490 \div 7$

② 計算をしましょう。

① $1500 \div 5$

② $2000 \div 4$

③ $3600 \div 4$

④ $4200 \div 7$

⑤ $4000 \div 8$

⑥ $7200 \div 9$

⑦ $6400 \div 8$

⑧ $5600 \div 7$

⑨ $6300 \div 9$

⑩ $1000 \div 2$

③ つぎの文章題をしましょう。

- ① 2000円のプレゼントを買うために、5人で同じ金がかくずつだすことになりました。
1人分は、いくらになるでしょう。

式

答え

- ② 1800まいの紙を3クラスで同じまい数ずつ分けます。1クラス何まいずつになるでしょう。

式

答え

科目：算数	分野：わり算	(4年生)
～3けた÷1けた，4けた÷1けたの計算～		3 / 3

答え合わせ

① 計算をしましょう。

① $160 \div 4 = 40$

② $270 \div 3 = 90$

③ $250 \div 5 = 50$

④ $350 \div 7 = 50$

⑤ $300 \div 6 = 50$

⑥ $450 \div 9 = 50$

⑦ $280 \div 4 = 70$

⑧ $180 \div 2 = 90$

⑨ $540 \div 9 = 60$

⑩ $490 \div 7 = 70$

② 計算をしましょう。

① $1500 \div 5 = 300$

② $2000 \div 4 = 500$

③ $3600 \div 4 = 900$

④ $4200 \div 7 = 600$

⑤ $4000 \div 8 = 500$

⑥ $7200 \div 9 = 800$

⑦ $6400 \div 8 = 800$

⑧ $5600 \div 7 = 800$

⑨ $6300 \div 9 = 700$

⑩ $1000 \div 2 = 500$

③ つぎの文章題をしましょう。

① 2000円のプレゼントを買うために、5人で同じ金がかくずつだすことになりました。
1人分は、いくらになるでしょう。

式 $2000 \div 5 = 400$

答え 400円

② 1800まいの紙を3クラスで同じまい数ずつ分けます。1クラス何まいずつになる
でしょう。

式 $1800 \div 3 = 600$

答え 600まい

科目：算数	分野：およその数	(4年生)
～およその数の計算～		1 / 3

●はってん学習のテーマ●

およその数の計算のしかた

数を表すとき、きっちりの数で表されている場合がありますよネ。
これは、きっちりの数になるように、切り上げや切り捨てをしたからなんです。
ある数をその数に近い数に直して表したとき、「およそ」や「約」をつけます。
「およその数」のことを「がい数」ともいいます。
およその数にするとき、とりたい位の次の位の数字が5よりも小さければ切り捨てにし、
5か5よりも大きければ切り上げにします。この方法を四捨五入といいます。
わり算でどこまでもわりきれないときや、かけ算の答えをそれほど細かく求めなくても
よいときは、計算をする前や計算のとちゅうで四捨五入をして答えをだすと便利ですヨ。



〈例題 1〉 1mで8.45gの重さのはり金があります。このはり金が5.7mあると、重さは
およそ何gですか。

きちんと計算すると次のようになります。

$$\text{式 } 8.45 \times 5.7 = 48.165$$

しかし、「およそ何gですか」ときかれているので、小数点以下の数を計算しなくてもすみ
そうです。

この場合、それぞれの数をはじめにおよその数にして、計算をかんたんにすることができ
ます。

はじめに、一の位までのおよその数にします。

8.45g (小数第一位を四捨五入します) → 8g

5.7m (小数第一位を四捨五入します) → 6m

$$\text{式 } 8 \times 6 = 48 \quad \text{答え } \text{およそ } 48\text{g}$$

〈例題 2〉 長さ4mのリボンを7本にきったとき、1人ぶんのリボンの長さはおよそ何m
ですか。

四捨五入で小数第一位まで求めましょう。

$$\text{式 } 4 \div 7 = 0.571 \dots \text{m}$$

この計算は、どこまでいってもわりきれません。

この場合、小数第二位の数を四捨五入して、小数第一位まで求めます。

$$0.57 \rightarrow 0.6$$

小数第二位が7なので、
切り上げます。

$$\text{答え } \text{およそ } 0.6\text{m}$$

科目：算数	分野：およその数	(4年生)
～およその数の計算～		2 / 3

練習問題

かけ算をするときは、はじめに^{ししやごにゆう}四捨五入して、計算をかんたんにしましょう。
わり算は、求めたい位のひとつ前の位を^{ししやごにゆう}四捨五入しましょう。



- 1 ふくろにさとうが 59.85 g 入っています。
このさとうを 50 ふくろ買いました。およそ何千 g になりますか。
- 2 あるはり金の重さをはかったら、 1 m で 2.93 g ありました。このはり金 5 m の重さは、およそ何 g ですか。
- 3 6.7 L で 5.3 kg のサラダ油があります。この油 1 L の重さは、およそ何 kg になりますか。
^{ししやごにゆう}四捨五入して、一の位まで求めましょう。
- 4 25.4 kg のさとうを 8 ふくろにわけました。ひとふくろあたり、およそ何 kg ですか。
^{ししやごにゆう}四捨五入して、一の位まで求めましょう。

科目：算数	分野：およその数	(4年生)
～およその数の計算～		3 / 3

答え合わせ

ししゃごにゅう
四捨五入の意味がわかりましたか。計算や答えをかんたんにするには、とても大切なことですね。



- 1** ふくろにさとうが59.85g入っています。
このさとうを50ふくろ買いました。およそ何千gになりますか。
59.85gを一の位までのおよその数にすると、およそ60gになります。
式 $60\text{g} \times 50\text{ふくろ} = 3000\text{g}$
答え およそ3000g
- 2** あるはり金の重さをはかったら、1mで2.93gありました。このはり金5mの重さは、およそ何gですか。
2.93gを一の位までのおよその数にすると、およそ3gになります。
式 $3\text{g} \times 5\text{m} = 15\text{g}$
答え およそ15g
- 3** 6.7Lで5.3kgのサラダ油があります。この油1Lの重さは、およそ何kgになりますか。
ししゃごにゅう
四捨五入して、一の位まで求めましょう。
式 $5.3\text{kg} \div 6.7\text{L} = 0.791\cdots\text{kg}$
小数第一位をししゃごにゅう四捨五入します。 $0.791\cdots\text{kg} \rightarrow 1\text{kg}$
答え およそ1kg
- 4** 25.4kgのさとうを8ふくろにわけました。ひとふくろあたり、およそ何kgですか。
ししゃごにゅう
四捨五入して、一の位まで求めましょう。
式 $25.4\text{kg} \div 8\text{ふくろ} = 3.175\text{kg}$
小数第一位をししゃごにゅう四捨五入します。 $3.175\text{kg} \rightarrow \text{およそ}3\text{kg}$
答え およそ3kg